

改善報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 29 年度

市町村名	加須市				
提案事業名	U I J ターンによる定住促進事業				
事業期間	28 年度 ~ 28 年度				
成果指標	(成果を検証する指標) 空家バンクの契約成立件数				
	(成果の目標値に対する実績)			達成度	A B C
	従前値 (年 月時点)	—	目標値 (28年度末時点)	3組	実績値 (28年度末時点) 0組
	(施設建設等の場合の実績)				
年間利用者数 (人)	(目標) (実績)		稼働率 (%)	(目標) (実績)	

【改善計画(報告)】

①成果指標の再設定

事業・方策名	U I J ターンによる定住促進事業				
成果指標の再設定	(成果を検証する指標) 空家バンクの契約成立件数				
	(成果の目標値に対する実績)			達成度	A B C
	現状値 (28年度末時点)	0組	目標値 (29年度末時点)	3組	実績値 (29年度末時点) 0組
	(施設建設等の場合の実績)				
年間利用者数 (人)	(目標) (実績)		稼働率 (%)	(目標) (実績)	

②再設定指標を達成するための事業・方策内容

事業・方策内容	
①	空家の売却・賃貸を希望する所有者の方が、市に物件を登録し、市のホームページなどを通じて、その物件情報を加須市に移り住みたいと考えている移住・定住希望者などに発信し、空家の所有者と利用希望者のマッチングを行う。市内への移住・定住希望者などに対し、物件情報を発信することで、空家等の有効活用を通じ、空家の発生や増加を抑制するとともに、市内への移住・定住の促進を図る。
②	開発許可申請手数料の免除、引越費用や住宅リフォーム費用の一部助成、土地の税制優遇などの移住支援情報を、定住コンシェルジュが移住希望者に情報提供する際、物件情報も併せて情報提供することで、空家バンクの活用による移住・定住の促進を図る。
③	

③事業・方策の実施効果

実施効果の概要	
①	空家バンクへの物件登録の募集チラシの作成、協定を締結した団体との連携による市担当窓口や各団体会員の事務所でのチラシの配布など、空家バンク制度の周知を図った。移住・定住希望者からの利用登録はあったものの、空家の売却・賃貸を希望する所有者からの物件登録がなかったため、空家バンクの契約成立に繋げることができなかった。
②	空家の売却・賃貸を希望する所有者からの物件登録がなかったため、定住コンシェルジュによる移住希望者への物件情報の提供には至らず、空家バンクの契約成立に繋げることができなかった。
③	

④特記事項

空家バンクを活用した移住・定住の促進を図るためには、空家物件の登録と空家情報の充実が不可欠である。空家バンク制度及び空家物件の登録募集について、市ホームページや広報紙等で周知を図るなど、空家物件の登録に結び付くよう情報発信を継続していく。
